

国宝高松塚古墳壁画及び国宝キトラ古墳壁画の 保存活用に関する令和 6 年度の検討事項

高松塚古墳壁画及びキトラ古墳壁画の保存活用に関して、当面の課題について継続的に調査研究等に取り組んでいる。本年度の検討事項は以下のとおりである。

1. 高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）（新施設）設置について

新施設の基本計画（古墳壁画の保存活用に関する検討会(第 34 回)）を踏まえ、令和 6 年度は国営飛鳥歴史公園館との一体的な整備に向けて、基本設計に必要な諸条件を国営飛鳥歴史公園事務所と連携して検討しているところである。

○主な検討事項

- ・ 壁画石材保管室の詳細（壁画保管区画、観覧区画）
 委託事業：高松塚古墳壁画保存管理施設（仮称）設置に向けた調査研究
- ・ 適切な保存管理・公開の基準となる保存環境管理指針の提案に向けた検討
- ・ 諸室の配置、設備の仕様（空調、防災、照明、その他）
- ・ 工事で発生する振動等による影響の可能性とその軽減
- ・ 仮設修理施設から新施設への壁画石室石材の移動法
- ・ 展示設計（壁画石材保管室、ガイダンス展示、常設展示（企画展示コーナーを含む））
- ・ 運営方法
 委託事業：高松塚新施設コンセッション方式導入検討調査

○新施設設置に向けての今後の流れ

- ・ 設計（基本・実施）
- ・ 工事
- ・ 供用開始 令和 11 年度までを予定
- ・ 仮設修理施設の解体

2. 高松塚古墳壁画及びキトラ古墳壁画の保存活用に関する当面の課題

当面の課題について、下記表1、表2にまとめた。

また、『高松塚古墳の保存管理の経緯と壁画修理後の当分の間の保存の在り方について』（古墳壁画の保存活用に関する検討会（第15回））の一部修正加筆の必要性を検討する

表1 高松塚古墳に関する当面の課題と取組

	課題	取組
壁画 石室石材 漆喰	・施設内の保存環境	・施設内環境のモニタリング、維持管理の継続
	・壁画材料の分析	・壁画色材についての分析
	・壁画のメンテナンス	・メンテナンスの継続による保存管理と現状把握 ・長期的なメンテナンス手法の検討
	・新施設への移動	・新施設への文化財の移動検討のための石室石材・漆喰の材料実験、SfM/MVSによるモニタリング手法の検討
発掘成果 墳丘	・発掘成果の整理活用 ・墳丘の整備活用	・発掘成果や墳丘の情報のデジタルアーカイブ化や、公開時の乾拓体験等を実施 ・出土棺金具に関する新知見を基にした再現 ・仮整備後の墳丘の経過観察

表2 キトラ古墳に関する当面の課題と取組

	課題	取組
壁画 保存管理施設	・施設内の保存環境	・施設内環境のモニタリング、維持管理の継続
	・別置壁画片の調査、今後のあり方	・壁画色材についての分析 ・『青龍』の赤外線調査を検討 ・『辰』、『巳』、『申』の安定化処置開始 ・『午』の今後のあり方を検討
	・壁画のメンテナンス	・メンテナンスの継続による保存管理と現状把握 ・長期的なメンテナンス手法の検討
発掘成果 墳丘	・発掘成果の整理活用 ・墳丘の整備活用	・発掘成果のデジタルアーカイブ化と活用検討や公開時の乾拓体験等を実施 ・仮整備後の墳丘の経過観察